

# うるま市まち・ひと・しごと創生総合戦略 第3回外部関係者会議

## 議事録

日時	平成28年3月7日（月） 午後2：00～4：00	
場所	うるま市役所 新庁舎 3階講堂	
出席者	①池根 孝 うるま市商工会 副会長（新垣 壮大委員の代理） ②瀬口 浩一 琉球大学法文学部 人文社会科学研究科 教授【座長】 ③真川 俊治 沖縄県農業協同組合勝連支店 支店長 ④屋比久 敏和 コザ信用金庫お客様支援室 次長 ⑤田仲 康紀 株式会社沖縄海邦銀行 企業支援部 ⑥赤嶺 久美 一般社団法人ジョブリッジ研究所 代表理事 ⑦伊波 良和 株式会社FMうるま 代表取締役 ⑧名護 徹 自治会連絡協議会 宮城自治会長 ⑨山城 彌生 うるま市母子寡婦福祉会 会長 ⑩玉栄 章宏 有限会社きらら総合企画 取締役社長	出席：10名
欠席	①玉城 貴志 内閣府沖縄総合事務局 経済産業部企画振興課 地域調整係長 ②宮城 貴行 行政経営株式会社 プロジェクトマネージャー	欠席：2名
事務局	①うるま市役所企画部企画課 神田企画開発係長、伊佐主事、岸本主事 ②昭和株式会社 丸山、石井 ③株式会社 社会開発研究所 安達	

### 1 開会

### 2 確認事項

#### (1) 第2回外部関係者会議議事録の内容について

- ・事務局より、第1回外部関係者会議の概要について説明。
- ・(委員) P6 について、私は前回、東海岸の海の財産が有効活用されていない、エネルギーの視点、次世代エネルギーパーク構想、水性ガスの有効活用など、エネルギーについて述べたのだが、資料-2 の「(2) 前回の質疑・意見・要望等に対する回答について」に記載されていないような気がする。検討させて頂きたいと回答されているが、いかがか。
- (事務局) 検討は行ったが、現実的に総合計画への記載が難しいため、反映を見送っている。資料-2 の中で、その旨を記述すべきであったと思う。

#### (2) 第2回外部関係者会議の質疑・意見・要望等に対する回答について

- ・事務局より、第2回外部関係者会議の質疑・意見・要望等に対する回答について説明。
- ・(委員) No.1 について、一島一株式会社の構想の推進、平安座島における製油所跡地の活用の追加を第2回会議資料-4に記載頂いており、また、No.2 に関しては、総合戦略のP10、13に記載頂いているが、「島しょ地域においては、遊休地等を活用した企業誘致を推進します。」という表現である。ここに関して、私は平安座島における製油所跡地の活用を進めて頂きたいし、施策の中に盛り込んで頂きたいと思う。新市建設計画にも現総合計画にも「製油所跡地や遊休地」と明記されている。10年経っても実現していないため、入れてほしいと言いつけている。
- 平安座島の製油所跡地 18万坪が製造業として雇用を生む可能性を秘めているが、なかなか進展しない。そのため、ぜひ「遊休地等」という表現ではなく、「製油所跡地や遊休地」と記載頂きたい。また、その内容を具体的施策の中にも落とし込んで頂きたい。雇用の場の創出にも人口の増加にもつながると思う。
- 事務局として検討した結果、製油所跡地と具体的に記載する事について、総合戦略に記載する事は難しいことから遊休地等という表現にさせて頂いた。
- ・(委員) 正直表現をぼかしてほしくない。なぜトーンダウンするのかと思う。
- 市として具体的施策案があるのかといえば、現時点では厳しい。そのためこのような表現にさせて頂いた。
- ・(委員) 製油所跡地にどういう製造業が成り立つのかという話ではなく、有効活用を促進していくために、地域・企業・行政それぞれにおける役割や進め方、アプローチの仕方を検討して進めていく必要があるのではないかと思う。絶えず申し上げているがいつも後退するため、この場でも申し上げた。
- 次回推進本部の場で、今頂いたご意見について確認させて頂きたい。
- ・(委員) No.6 の回答に記載されている参考資料①の内容について質問したい。「平成28年度うるま市島しょ地域活性化事業」とある。平成27年度地方創生加速化交付金申請事業の中で、平成28年度事業と記載されているが、平成27年度も実施して、平成28年度も継続するという認識で良いか。
- 完全に継続という訳ではなく、新しい視点も盛り込んで実施するイメージである。
- ・(委員) 同じく参考資料①について、手上げ方式のため交付金配分されない場合もあると記載されている。万が一選ばれない場合には、一括交付金の中で確実に拾う事はできるか。
- 一括交付金では、勝連城跡のハード事業と、市物産直売所建設を平成28、29年度に実施する予定である。そのため一括交付金の枠が余るかどうかなどと言えば、厳しい状況である。
- ・(委員) 万が一選ばれなかった場合は、補正予算に組み込んで他から事業費を捻出して実施する位行って頂ければと思う。
- 地方創生に関する交付金を活用して事業を進めていきたいと考えているが、一括交付金での対応、あるいは各省庁の予算、場合によっては市の地域振興基金もしくは一般財源による執行等考えていければと思う。

- ・(委員) No.5 に関連して、P16 の具体的施策について、宿泊施設誘致事業で宿泊施設を積極的に誘致するとある。島しょ地域は景観条例で3階建以上の建築物の建築が不可と定められていると聞いているが、ホテル等建築する場合には特例として高さや階数を増やして欲しいので、総合戦略に落とし込む事は可能か。
- また、No.7 の回答で、次年度以降の検証体制の中で整理させて頂きたいとあるが、その検証体制を組織図として掲載した方がよいのでは。
- No.14 について、市内の専門学校数は2校という事なので、施策に教育機関の誘致を盛り込めないか。
- No.17 について、移住促進は企画課が中心となると思う。課の内部で専門の人を職員として一人配置できないか。
- 景観条例の特例措置を設ける事ができないかという話について、現在、観光振興ビジョンを策定している商工観光課の事務局の立場としては、景観を守っていく立場として、できれば現条例を守っていく方向で進めていきたいという考え方であり、高層よりも平屋建で進めていく事も充分可能である、という考え方である。
- ・(委員) 5階建位でないと、ホテルとして経営できない。その地域の実態に合った開発を観光ビジョンに入れ込む事ができないのか。
- 総合戦略でそこまで謳い込むのは厳しいと思う。今頂いたご意見については、観光ビジョンを担当している商工観光課に投げかけ、質疑に対する回答として取り扱いたい。
- ・(委員) 投げかける際に、「特段市長が認めるものについては」と付記できないかという事も合わせて投げかけて頂ければと思う。
- 検証体制の構築という件について、庁内では市長をトップとする総合戦略推進本部会議を立ち上げている。これは次年度以降も引き続き継承していく事となる。また、この外部関係者会議の皆様も、次年度以降も引き続きお引き受け頂き、年1・2回程度会を開催し、ご意見等頂ければと考えている。
- ・(委員) P4 に、検討体制図を入れてはどうかと思う。
- 検討させて頂きたい。
- また、教育機関の誘致について、P11 から P12 にかけて盛り込む事ができないか検討させて頂きたい。
- 定住移住に関する相談窓口設置について、島しょ地域における教育環境、雇用環境等の各種情報を一元化したデータベースを構築したいと考えている。その相談窓口も必要であろうと考えている。平成29年度以降になると思うが、企業立地雇用推進課の雇用相談窓口を追加で相談窓口を委託という形で設ける事ができないか検討を行っている所である。企画課そのものに職員が専属で一人張り付くのは難しい。
- ・(座長) No.9 で、「合計特殊出生率の0.1上昇を勘案すると」とあるが、算出方法から言うとどの年齢層の出生状況を上げるのか、どういう計算で0.1が出てきたのか。
- 45歳迄の数字であったと記憶している。市の人口維持のためには、合計特殊出生率が2.1必要だから、せめて人口維持できる程度まで上げていきたいと思い、それであれば5年間で0.1程度ではないかと考えて設定した。結果から逆算して、目標値を設定

したという考え方である。

- ・(委員) No.8に関連して、資料-4のP18、島しょ地域の新規移住・定住者数のKPIについて、2019年までの今後4年間で80人とあるが、年度毎に目標を定めないと先程話のあった1年に1回の評価ができないと思うが、どうお考えか。

→事務局としては、単年度20人×4年と考えている。子育て世帯の平均世帯人数は4人程度であるため、年間5世帯は新規移住・定住させたいという考え方である。

- ・(委員) それならば、今おっしゃられた内容をP18に文言で示した方が良いのではないか。

→検討させて頂きたい。

- ・(委員) No.15に関連して、資料-4のP19、2-2-2は多様な働き方の推進とあり、SOHOなど大切な内容を記しているように見える。そのため、多様な働き方の推進に関するKPIも何か定めた方がよいのではないか。

No.20に関連して、資料-4のP28のKPIについて、アンケートで島しょ地域に住み続けたいと思う人の割合を把握する事であると思うが、コミュニティに関する内容でKPIを設定できないか。施策的な何かがほしい。アンケートという結果論ではなく。

→次年度以降の課題としたい。

### 3 報告事項

- (1) うるま市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)に対するパブリックコメントについて

- ・事務局より、パブリックコメントに対する意見はなかった旨の報告がなされた。

### 4 審議事項

- (1) うるま市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について

- ・(委員) P12、プラットフォーム型就職支援事業の概要に「キャリア教育及び」を追加頂きたい。

→そのように対応したい。

- ・(座長) P12、I・UターンのUターンのUのフォントも修正頂きたい。

→そのように対応したい。

- ・(委員) 議会との意見交換会はもうなされたのか、今からなのか。

→策定後の説明会という形で、3/17の議会終了後に行いたいと考えている。

- ・(委員) P16のメディア活用による戦略的観光誘客促進事業について、可能であれば「地元コミュニティFM」も追加頂きたい。観光客や移住などFMを活用頂ければもっと楽になるのではないか。携帯電話やパソコンでもFMを聞く事ができるため、県外に向けてのアピールとしては必要ではないかと思うので、追加頂きたい。

→そのように対応したい。

- ・(委員) P12の正社員化企業支援事業について、正社員化した際に補助金を出すという事であると思うが、どのように確認するのか。また、今年度は何名程正社員になったか

ご存知であれば教えて頂きたい。

→企業立地雇用推進課に確認し、後日回答という形で提示させて頂きたい。

- ・(委員) P29 の本文に、小さな地域では、通行止めや洪水の危険性に関する第一報は FM で流す事になる、というような文言を入れて頂きたい。また、現在、自動起動ラジヲを各自治体に設置頂きたいと市に要請しているため、防災対策にコミュニティラジヲの活用という文言を追加頂きたい。

→防災を担当している現在の総務課、次年度の防災基地渉外課の意向も確認しながら検討させて頂きたい。

- ・(座長) KPI について、P12 では各種雇用施策による就職者数と設定されているが、これではどの施策でどれだけ就職者数が増えたのか分からないのではないかと。評価検証を行うにあたって、対応関係が不明瞭であると思うが、どうお考えか。

→1 つの施策で個別の数値を出す事は難しく、施策を集約する事で出てくるものと考えている。そのため、再掲的な形を採っている。

- ・(委員) P16 の KPI、勝連城跡・あやはし館の来場者数について、1 つになっているが理由はあるのか。あるいは分ける事ができないからなのか。

→分ける事もできるが、勝連城とあやはし館をセットで周遊して頂こうと考えている事から、1 つにとりまとめている。

- ・(委員) P4 の推進・検証体制については、新たに 4 章を設けてそこに記載する方が一般的であると思う。また、「KPI による効果の評価・検証」について、「KPI の評価・検証」に修正した方がよいのでは。

→検討させて頂きたい。

- ・(委員) 今後の確認であるが、印刷された報告書が届くのか。

→本日頂いた意見と対応のまとめ、人口ビジョン及び総合戦略、概要版、議事録について、4 月に皆様に送付できればと考えている。

- ・(委員) 本日追加で配布されている資料-2-2 について、グラフのタイトルを入れた方がよい。

- ・(委員) P21 について、子どもの貧困と記載があるが、子どもではなく親が貧困であると思う。表記を変える事はできないのか。

→生活困窮世帯とすると、生活保護の担当である生活福祉課が所管となる。子どもの貧困は多岐に渡る要因があるため、調整段階で生活困窮とは異なる、という話になった。

- ・(委員) 本日頂いた意見については事務局預かりとしたい。

## 5 その他

- ・意見と対応のまとめ、人口ビジョン及び総合戦略、概要版、議事録を 4 月に送付する旨の説明が、事務局よりなされた。

## 6 閉会